

「日本の未来の形」について考える

編集長: 未来予報家



私たちが住むこの日本国は明治維新以来の過渡期を迎えていると考える学者は多いようです。国内では大阪都構想に象徴されるように、日本の内側から大きな変化、新たな潮流が起こり出しています。他方、TPPIに代表されるような国境を越えた輸出入のボーダーレス社会の到来もいよいよ秒読みなのでしょう。巷ではこれを「グローバル化」とか「グローバリゼーション」などと呼びますが、その本質は何でしょうか。実は私は国内におけるグローバリゼーションはすでに起こっていると考えています。それを証拠にアメリカ出資のマクドナルドもセブンイレブンもスタバ(スターバックスコーヒー)も各種ファミリーレストランもみな、日本全国津々浦々どこにでもあります。軒並み金太郎飴のようです。同じ店、同じ商品が取り揃えられています。しかもこのようなお店は日常生活に大きな影響力をもち、昔ながらの商店街を駆逐し(ドミノ方式と呼ぶそう)、それ自体をスタンダードにしています。その様はまさしくアメリカそのものではありませんか。それならいっそのこと、日本がアメリカの州のひとつになれば、よほど面倒がなくていいというものです。手始めに円をドルに変えましょう。さすれば日銀はいらないでしょうし、兵役も志願制度にすれば問題になりません。愛国心教育もアメリカの一部になれば七面倒な議論はいりませんし安保条約もこれで解決です。アメリカと意見が同じになるのなら外務省もお払い箱です。半世紀以上アメリカ任せでやってきた国なのですからことほどさように、これほど理にかなったことはありません。しかし、私の本音は、「官僚の皆さん! 国益に適うようもっとしっかりしなさい!」とエールを送っているのです。あしからず。

デイケア家族交流会について

今回は、3月24日(土)に開かれたデイケア家族交流会について皆さんに紹介します。

交流会では、私たちスタッフとメンバーさんたちとで一生涯命取り組んでいる就労支援のこと、また、その活動拠点となる「わあくわく舎」についてご家族や関連施設の方々に発表させていただきました。さて皆さん「わあくわく舎」って何?って思いませんでした。え?・・・別に。まあ、そう言わずしばしお付き合いください。

1. わあくわく舎とは何か?

- わあく= 仕事 (Work)
- わく= わくわくする (心がうきうきわくわくすること)
- 舎= 共有する (シェア)

病院の敷地内で使用しなくなった建物の一角をお借りし、そこを働きたい人が集える活動拠点にしよう! ということで、メンバーさんとスタッフで大改装計画を敢行することにしましたがこれが大変でした。朝から晩までペンキ塗り、大掃除、片付け、エアコンや給湯設備の動作チェックその他もろもろエトセトラエトセトラ。とにかく自分たちのできることは全て、メンバーさんたちと共に取り組んだのです。

時には 私たちっていったい何? 本業はどこへ? など職業アイデンティティを失いかけてつ、折れそうな心をメンバーさんたちにフォローしてもらいつつ、改装をつづけること約4ヶ月。ついに私たちみんなの夢「わあくわく舎」は完成したのです。これが実際の写真です。



作業中です



改装後のお部屋です



わあくわく舎外観

いかがですか? これメンバーさんたちとスタッフみんなで作上げたんですよ。もちろんその道のプロにはかないませんが、関わった人たちはみんな胸を張って「どや顔」です。

2. 家族交流会について

さて、いよいよ本題です。今回の家族交流会では血と汗と涙の結晶「わあくわく舎」の紹介のみならず、ご家族の皆さんとグループミーティングなどを行ないましたが、今回の家族交流会最大の目玉は、何と言っても就労支援に従事するメンバーさんたちによる発表でした。ここに従事するメンバーさん3人には、事前に発表のお願いをして当日を迎えることになりました。

ここまでトントン拍子で交流会の準備を進めていたのですがやっぱりというか案の定というか発表当日になって大きな落し

穴が待ち構えていました。

3. 発表当日

1人は洗車に従事し、1人は観葉植物のレンタル、もう1人は食事の運搬・配膳と仕事は多彩です。が、そのうちの1人が当日体調を崩してしまいお休みしてしまいました。

「あちゃ〜」準備していたスタッフもこれには大慌て。一瞬たじろいだものの、そこは百戦錬磨のスタッフ&メンバーさん。即興で、しかも面白おかしく今までの苦労話をまるで掛け合い漫才でもするようにご家族に向け紹介しているじゃありませんか。それにしてもメンバーさんたちそれぞれが、語りましたねえ〜。スタッフも語りましたねえ〜。ご家族に向けて自らの思いや考え、取り組んでよかったこと、難しかったことなど大いに語りましたよ。メンバーさんたちかっこよかったなあ〜。その時の様子がこれです。



語りましたよ〜



多くの方々に参加頂きました



発表を終え誇らしげな顔

4. まとめ

発表内容は後々のひだまり通信で改めて紹介できるかもしれませんが、交流会後のご家族や関連施設の方々へのアンケートからも当院デイケアの取り組みは大変意義深く受け止めていただけたようです。一例ですが「発表者の方が、自信をもって話されていることがよかったです」「『就労』についての考え方が良いと思います。当事者主体、発案による仕事作りは意欲を引き出していると思います」などなど、メンバーさんのみならず関わるスタッフも皆、元気や勇気をもらえる交流会でした。何より、ご家族や関連施設の方々との相互理解を深めることができました!・・・かな?と感じられる交流会でした。

うほっ、編集長、大胆発言連発中ですねえ。さて、当院デイケアでは現在もメンバーさんを中心に活動を切り盛りしよう! 病院の外に向けている発信しよう! とメンバーさんとスタッフが一丸となりさまざまなことに取り組んでいます。そうして感じるのメンバーさん一人ひとりの持つ底力というか、よほど素直で純粋でまっすぐな心の持ち主が多くて、そのひたむきな姿に心打たれることです。何年間もメンバーさんたちに寄り添いお付き合いしてきましたが、毎日が刺激に満ちていました。それでもまあ人間関係ですから、良い事ばかりではありません。もう、うんざりってことも多々あります。けれど、デイケアは人間関係だけが中心ではなく、適度な逃げ場があったり、理屈抜きに癒しの存在がいて(それぞれのスタッフにいます(笑))心の傷の手当をしてもらっているのです。細く長くデイケア活動を続けるためにはメンバーさんたちを信頼し、信頼されるよう努力しながらの日々の積み重ねしかありません。メンバーさんたちがそれぞれの翼をのばし、それぞれの目標に向けて羽ばたくことを切に願っています... ありがとうございます。(筆名: もじろう)